



2024年3月期 第2四半期

決算説明会資料

2023年11月17日
ヒューマンホールディングス株式会社
(証券コード：2415)

1.2024/3期 第2Q連結業績 ～ エグゼクティブサマリー ～

全セグメントで増収となり、利益面は増益

(百万円)	2023/3期 2Q実績 (構成比)	2024/3期 2Q実績 (構成比)	前年 同期比 増減額	前年 同期比 増減率
売上高	44,942 (100.0%)	47,274 (100.0%)	+2,332	+5.2%
営業利益	743 (1.7%)	1,041 (2.2%)	+297	+40.0%
経常利益	891 (2.0%)	1,050 (2.2%)	+158	+17.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	560 (1.2%)	603 (1.3%)	+42	+7.6%

- 連結売上高 主に人材事業、教育事業において増収
- 連結営業利益 主に人材事業、介護事業において増益
※全社で従業員の賃上げ（全体平均7%）を実施済み
- 連結経常利益・四半期純利益 前期発生した補助金収入の減少などがあったものの営業利益増益により増益

2.成長戦略

～ビジネスモデル～

教育事業を中心に人材育成・事業開発・海外展開



ヒューマンホールディングス株式会社

最適な働き方の提供

ヒューマンリソシア株式会社

ヒューマングローバルタレント株式会社

株式会社エフ・ビー・エス

[インドネシア] PT. Human Mandiri Indonesia

外国人との共生

ヒューマンアカデミー株式会社

ヒューマングローバルコミュニケーションズ株式会社

産経ヒューマンラーニング株式会社

[フランス] Human Academy Europe SAS

[アメリカ] Human Academy America Inc.

[フィリピン] Human Academy Philippines,inc.

生産性向上

ヒューマンデジタル コンサルタンツ株式会社



待機児童問題の解消

ヒューマンスターチャイルド株式会社

[インドネシア] PT. HUMAN CITA ANANDA

[マレーシア] Human Star Child (MALAYSIA) SDN. BHD.

高齢者に優しい社会づくり

ヒューマンライフケア株式会社

美容・健康促進

ダッシングディバインターナショナル株式会社

青少年育成地域貢献

ヒューマンプランニング株式会社

2.成長戦略

～外部環境～

リスク

国内人口減

国内高齢化

競合の競争激化・異業種からの参入

自然災害・パンデミック

世界の分断

戦争・エネルギー・食料不足

インフレ・金利上昇

・金融不安・ドル高

アセット

教育保育事業

人材事業

介護事業

IT事業

その他事業

成長機会

外国人労働者受入

働き方・教育制度改革

リスクリング・人的資本経営

SDGs・ESG

IT・DX・AI・メタバース

アジア人口増加・中国の高齢化

カジノ・インバウンド・越境EC

入国制限解除・アフターコロナ

売上高1,000億円超え & 営業利益率5%

－ 事業の高付加価値化と利益率の向上 －

● ビジネスモデルの強化

● DX推進による業務効率化と高付加価値ビジネスの創造

● 事業戦略に即したM&A推進

全体【営業利益率目標 2.7%→5.0%】 ※2024/3期通期業績予想からの中長期目標

高付加価値事業へのポートフォリオシフトの加速

～GIT・RPA・人材紹介事業の推進と業務受託のサービスの高付加価値化～

➤ 派遣事業

- ・ 教育事業のノウハウを活かした育成型派遣事業推進
- ・ コンストラクション領域やDX関連など高付加価値型業種の営業推進

➤ GIT事業（グローバルITエンジニア）

- ・ 海外IT人材採用強化
- ・ 国内営業体制と海外募集ネットワークの強化

➤ DXソリューション事業（RPA・AIツール活用支援）

- ・ DXソリューションツールの利活用支援をセットにしたライセンス販売
- ・ DXソリューションツールを活用した業務受託事業の推進
- ・ DXソリューションツールのラインナップ拡充とプロダクト開発

➤ 人材紹介

- ・ 強みを持つコンストラクション（建設）領域の人材紹介事業の再強化

2.成長戦略 ～セグメント別 事業戦略（教育）～

全体【営業利益率目標 3.8%→6.0%】

自社開発の教育プラットフォーム（assist）を使ったサービスの高付加価値化



- ・教育のサービス品質向上とLTV向上
 - ・プラットフォームを活用した営業活動や教室運営のデジタル化
 - ・当社グループ内へのプラットフォーム提供によるビジネスモデル強化
- **社会人教育事業**
- ・リスキングニーズへの対応を強化（assistを活用した社会人教育コンテンツの展開、toB営業組織拡大による案件獲得の推進）
 - ・assist活用によるサービスの高付加価値化（カウンセリング機能の強化、営業・運営デジタル化）
- **全日制教育事業**
- ・エンタメ系講座（eスポーツ・ゲーム・マンガ等）の強化
 - ・VOD講座、ハイフレックス型授業の導入
 - ・マンガコンテンツ等の国内・海外FC展開
- **国際人教育事業（日本語教育事業）**
- ・日本語学校の校舎数拡大とシェア拡大
 - ・日本語教育のデジタル化（営業・運営・コンテンツなど）と海外展開の強化
- **児童教育事業**
- ・S T E A M教育の国内FC、海外展開の強化
- **保育事業**
- ・第三者評価機関の公表資料で高評価を得ている保育サービスの品質を強みとする公設学童受託
 - ・高品質の保育サービスのノウハウのパッケージ化と海外展開

2.成長戦略 ～セグメント別 事業戦略（介護・その他）～

全体【営業利益率目標 1.3%→5.0%】

新事業モデル構築によるサービスの高付加価値化

➤ CCRC事業モデル構築と積極展開

「グループホーム」「小規模多機能型居宅介護」のドミナント展開エリアに、「住まい」「医療」「福祉用具」を重層展開するCCRC事業モデルの構築

※トピックス：2023年4月に住宅型ホスピス「ヒューマンライフケア宮前ホスピスホーム（神奈川県）」を新規開設

➤ IT・DX

拠点業務デジタル化（運行事務作業の効率化、介護記録デジタル化など）による業務負担軽減とサービス品質向上

➤ 海外人材活用

外国人介護人材活用のための人材採用、介護教育、日本語教育の強化

（CCRC：「Continuing Care Retirement Community」の略称
高齢者が健康な段階で入居し、終身で暮らすことができる生活共同体）

介護

その他

スポーツ

- ・ スクール事業の強化
- ・ 集客力のある新B1基準を満たすアリーナの獲得準備

ネイル

- ・ 自社ブランド商品拡販
- ・ 店舗の収益力強化

IT

- ・ WEBマーケティング分野におけるDXニーズ獲得に注力

3. 企業価値向上施策の進捗状況

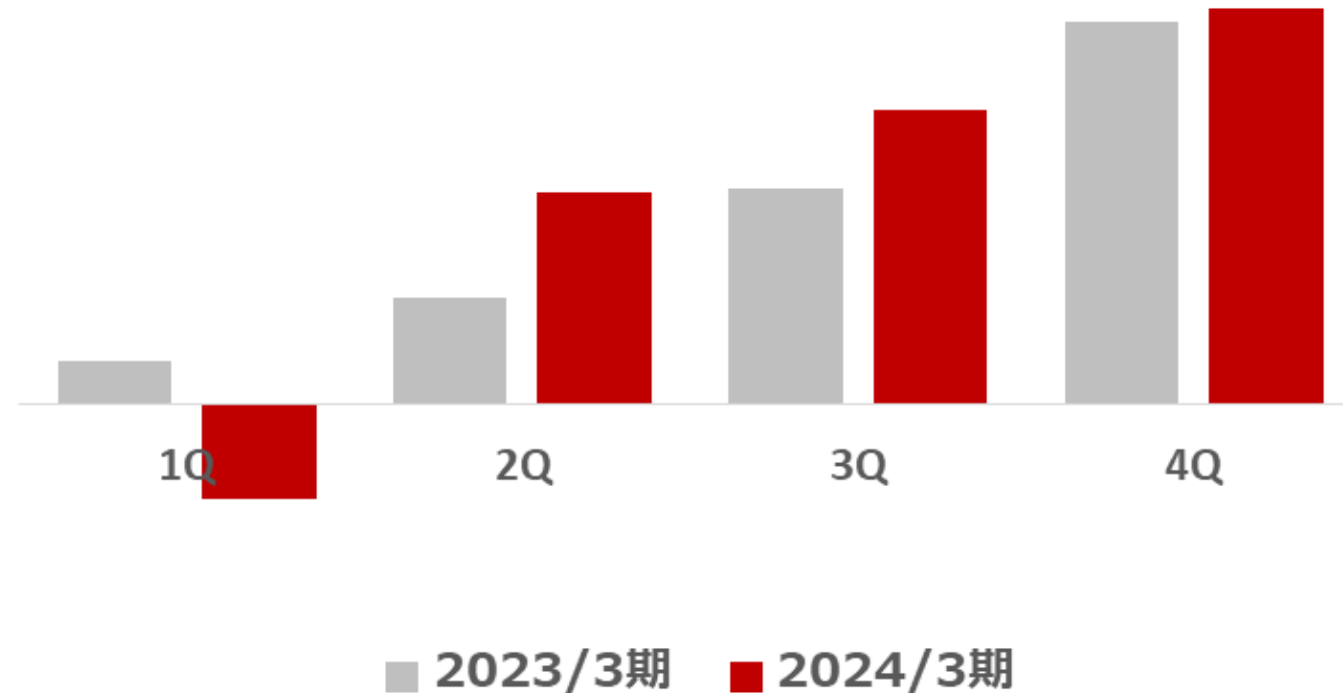
課題	課題の詳細 ※2023/3期 決算説明資料（2023/5）記載	施策の進捗状況
株式の流動性	流通株式比率は、上場維持基準25%に対して、実績20.85%（▲4.15P）	<p>2023/5/15（決算発表）</p> <ul style="list-style-type: none">✓ 上場維持基準に向けた計画書の開示✓ 2024年3月期から、株主還元の配当方針を配当性向30%に変更
株主還元	成長のための先行投資を優先するため、配当性向20%を株主還元方針	<p>2023年9月8日開催の取締役会決議に基づき自己株式の取得（公開買付け）を実施済</p> <ul style="list-style-type: none">✓ 当社役員及び役員の子親等以内の親族の保有株式を合計500,000株取得 (2023/9/11~2023/10/10、取得総額457百万円、1株あたり914円) <p>今後について</p> <ul style="list-style-type: none">✓ 取得した自己株式を消却することにより、流通株式比率が21.85%に改善する見込 (2024/3期中に実施予定)

4.2024/3期業績進捗と通期連結業績予想 ～業績進捗～

営業利益の期間進捗率は遅れているものの、この原因は期初における教育事業の先行投資によるものであり、当初計画に対しては概ね計画通りに推移

(百万円)		2024/3期 通期業績予想	2024/3期 2Q実績	期間 進捗率	進捗状況	
売上	連結	97,053	47,274	48.7%	◎	概ね計画通りに推移
	人材	56,117	27,512	49.0%	○	概ね計画通りに推移
	教育	25,676	12,469	48.6%	○	概ね計画通りに推移
	介護	12,018	5,876	48.9%	○	概ね計画通りに推移
	その他 (全社含む)	3,241	1,416	43.7%	△	想定内（計画通り）
営業 利益	連結	2,697	1,041	38.6%	△	進捗遅れではあるが計画通りに推移
	人材	1,508	785	52.1%	◎	好調に推移
	教育	965	126	13.1%	×	進捗遅れではあるが計画通りに推移
	介護	158	131	83.4%	◎	好調に推移
	その他	1	▲ 46	-	△	赤字ではあるが計画通りに推移
全社	63	44	69.4%	○	概ね計画通りに推移	

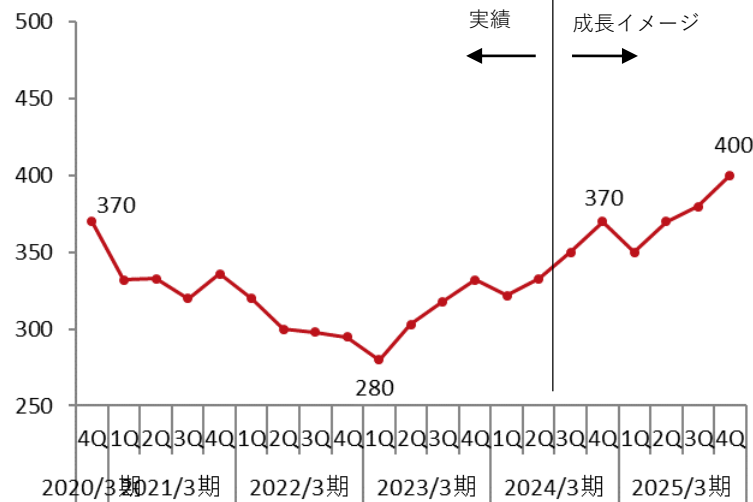
教育セグメントの営業利益四半期推移 (前年同四半期毎の比較)



- ✓ 第1Q 成長領域への人的投資などにより営業損失発生
- ✓ 第2Q 累計黒字転換
- ✓ 第3Q以降 売上計画は概ね計画通りに推移しており、国際人教育事業の日本語学校などを中心に業績拡大を見込んでいることから、第3Q以降においても利益が伸長する見込み

～コロナ禍に大きな影響を受けた注力事業の状況について～

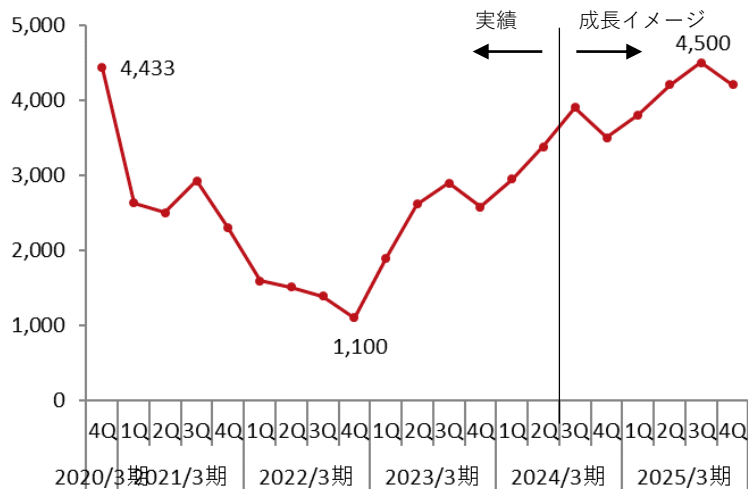
【人材】海外ITエンジニア就労スタッフ数推移



GIT事業（グローバルITエンジニア）

- ✓ 2023/3期1Qを底に回復基調にて推移
- ✓ 2024/3期4Qにはコロナ前の実績を捉える
- ✓ 2025/3期はさらなる成長ステージへ

【教育】日本語学校生徒数推移（人）



国際人教育事業（日本語学校）

- ✓ 2022/3期4Qを底に回復基調にて推移
- ✓ 2025/3期にはコロナ前の実績を捉える見込み

連結業績予想の修正はなし

(百万円)	2024/3期 2Q実績 (構成比)	前年 同期比 増減率	2024/3期 通期予測 (構成比)	前年 同期比 増減率
売上高	47,274 (100.0%)	+5.2%	97,053 (100.0%)	+6.0%
営業利益	1,041 (2.2%)	+40.0%	2,697 (2.8%)	+19.7%
経常利益	1,050 (2.2%)	+17.8%	2,632 (2.7%)	+4.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	603 (1.3%)	+7.6%	1,537 (1.6%)	+5.8%